

平成30年度 学校自己評価システムシート(私立志学会高等学校)

目指す学校像	活気あふれる学校づくりを目指す
--------	-----------------

重点目標	1. 授業を工夫し、基礎・基本的な知識を身につける。 2. 安全・安心な学校づくりを推進する。 3. 開かれた学校づくりをすすめる。
------	--

達成度	A	ほぼ達成(8割以上)
	B	概ね達成(6割以上)
	C	変化の兆し(4割以上)
	D	不十分(4割未満)

※学校関係者調査実施日とは、最終回の学校評価懇話会を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。

出席者	学校関係者	名
	生徒	名
	事務局(教職員)	名

※ 重点目標は3つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目(年度達成目標を意味する。)は複数設定可。

※ 番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

学 校 自 己 評 価					
年 度 目 標			年 度 評 価 (5 月 3 1 日 現 在)		
番号	現状と課題	評価項目	具体的方針	方策の評価指標	評価達成状況
1	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎・基本が身につけていない生徒、授業に関心のない生徒がいる。 ・不登校生徒で授業に出ることへの嫌悪感を持っている生徒がいる。 ・授業を受ける心構えができていない生徒がいる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学力の向上と授業改善 	<ul style="list-style-type: none"> ・個々の成績不振者への指導。 ・授業に落ち着いて真剣に受けることができるような意識・環境づくりに努める。 ・不登校生徒の学校へのハードルを下げるため授業ではなく話を聞きながら意識改善を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・クラス担任、教科担当等で繰り返し意識づくりをはかったか。 ・成績不振者の割合が減少したか。 ・不登校生徒が学校への嫌悪感を減少したか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・補習提出の遅れがあった。 ・不登校生徒だった生徒が授業を受けれるようになった。 ・授業中集中を切らしてしまう生徒が数名いた。 ・レポートの提出について意識をして臨む生徒が増えた。
2	<ul style="list-style-type: none"> ・感染症発生時には、速やかに対応し、感染拡大の防止する。 ・自動車・原付及び自動二輪で通学する生徒がいる。 ・自転車通学する生徒がいる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・安全・安心な学校づくりの推進 	<ul style="list-style-type: none"> ・感染症に対し、理解を深め常時予防に努めるとともに、発生の際に迅速に対応する。 ・交通マナーの意識を高める。(安全運転、ヘルメット着用、二人乗り禁止等) ・自転車でも保険に入ることが義務可することなどを周知。 	<ul style="list-style-type: none"> ・感染症罹患数を年度推移により検証する。 ・クラス担任による交通マナーの呼びかけをし、交通安全を実現できたか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・インフルエンザ等の感染症に感染した生徒はいない。また、校内において数名伝染したようであった。保健便りや感染症予防などの周知を行った。 ・車・バイク通学者は保護者からの承認を徹底し、運転上のルールをしっかりと確認することにより、マナー向上の一歩となった。 ・自転車の保険について周知を行った。
3	<ul style="list-style-type: none"> ・中学生・高校生・保護者へ教育情報を発信する必要がある。 ・外部向け教育セミナーを行い関心を引く。 ・学校施設の貸出。 	<ul style="list-style-type: none"> ・開かれた学校づくりへの取り組み 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校からの情報発信 ・魅力ある外部向け教育セミナーの実施 ・授業公開の実施 ・学校施設の貸出 	<ul style="list-style-type: none"> ・公式ホームページを活用し、各分掌、学年等からの情報を分かりやすく発信できたか。 ・時事にあった教育セミナーを実施できたか。 ・学校施設の貸出を行う情報を発信できたか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページの「お知らせ」やFaceBookにより、月に7～8回程度学校の近況を発信・動画配信していた。 ・教育セミナーを1回行うことができた。 ・アプリを作成し、アプリでのお知らせ等を配信することを始めた。 ・公開授業を始めた。 ・学校施設の貸出で新規の方へ貸出ができていない。

学 校 関 係 者 評 価	
実施日	平成 年 月 日
学校関係者からの意見・要望・評価等	